

上平間第一町内会 事例紹介

防災まちづくりのヒント

区域

川崎市中原区田尻町・北谷町・上平間の一部

加入世帯

約2,000世帯

問合せ

中原区役所地域振興課 044-744-3159



上平間第一町内会「防災フェア」の様子（令和7年）



上平間第一町内会の活動事例

防災まちづくり

のヒントに「町内会で防災訓練をやりたい」

「人との繋がり」「助け合い」を大切にした地域活動を行っている上平間第一町内会は、ここ数年、川崎市の支援を受けながら防災まちづくりの取組を進めることで、地域全体の防災意識向上を図っています。

令和7年2月には町内会主催で、防災訓練を実施。数十年ぶりに開催をするため、無事に開催できるか、人が来てくれるか不安の中での開催であったが、近所のお寺や保育園、小学校の先生等地域の様々な方に声をかけ、協力をいただきながら、また、どうせなら「楽しく学んでほしい」といった思いから、中原区消防署など協力の元で「防災フェア」として実施。

上平間第一町内会では、ホームページにおいて、町内会のイベント情報だけでなく、防災まちづくりの情報を発信することで、地域全体の防災意識を醸成し、防災に強いまちづくりを目指しています。

防災訓練に人を集めるためにどうしたら？

今この瞬間に絶対に災害が起きないなんて保証はないだからこそ、自分や大切な方の身を守るにはどうしたらいいのか

それは、人任せとせずに防災に関する知識一つ一つを学ぶこと

訓練なのに楽しいはおかしい？

楽しさを通じで学ぶ、200人が参加「防災フェア」

背景

- 防災対策を何から取り組んでいいのかわからない
- 令和元年台風19号(東日本台風)の経験から災害の危険性を痛感
- 上平間地区は火災が発生すると燃え広がるリスクが高い地域に指定

取組

- 共助の輪を広げるため町内会主催の「防災フェア」を開催
- 子育て世代や若い世代に対する防災意識の啓発

勇気を出して声をかけてみよう、人との繋がりがあって素晴らしい、助け合える地域づくりへ

共助の輪を広げよう、小さな子どもからお年寄りまで「楽しく学べる防災訓練」を

01

「なぜ防災フェアなのか」

防災意識の維持・向上

身近で災害が起こると防災意識は高まるが、なかなか持続しないのが危機意識。個人だけで持続させるのはなかなか難しい。

上平間第一町内会では、地域の方に防災知識や災害リスク、備えるべきことを知ってもらい、地域の防災意識を高めたいという思いから防災訓練の開催を決定。

災害に対する危機意識

令和元年度に発生した台風19号（東日本台風）の大雨災害により災害の危険性を再認識したことが根底。

また、上平間第一町内会がある地域は木造住宅が密集しているなどの理由から、火災延焼の危険が高い地区の一つとされていることも関係し、防災意識を向上させる取組を考えるきっかけともなった。

楽しめる「フェア」へ

より多くの方に参加してもらえよう、身近なものを使った防災グッズ作りやシールラリービンゴといった楽しい要素を加え、気軽に参加しやすい、楽しめる防災訓練を町内会主催で「フェア」という形で開催。

当日は子どもからお年寄りまで約200名の参加に繋がった。

02

「人との繋がり」

地域のお寺を会場に

町内会区域には公園がないため、平時からの関係づくりとして地域のお寺である法田寺を防災フェアの会場にできないか相談し、承諾をいただいた。大通り沿いにあるお寺を会場にしたことで、外からも境内の様子がよく見え、飛び入りで参加された方もいたという。

多くの方に参加を

訓練開始時間を「〇時集合」と時間の固定はせずに、10時から12時の間でそれぞれが好きな時間に参加できるように。

また、会場の隣にある小学校の先生に声をかけ、児童にチラシを配布してもらおうようお願いしたことで、多くの子育て世代の参加に繋がる結果となった。

スタッフ不足対策を

役員だけでは人手不足、運営側が各ブースを体験する時間がとれないかもしれないという心配があった。

そこで、別の町内会イベントに参加してくれた方や、繋がりのある保育園の先生などに声をかけ、協力してもらうことで、交代制で運営側も訓練に参加することが可能になった。

03

「継続的な取組へ」

防災意識の啓発

防災対策は大事だけど、なかなかきっかけがない。上平間第一町内会では市の協力の下に作成した地震・水害の対策や備えをまとめたチラシをシールラリービンゴの参加賞と一緒に参加者に配布。

本チラシは、子育て世代や若い世代など普段防災活動の参加が難しい方にも防災の意識を啓発したいという思いから、参加者に直接チラシを配布することに。毎年開催する予定の防災フェアをきっかけにして地域全体の防災意識の醸成を目指す。

活動への意欲向上

活動をより良いものにするために、防災フェアの後に、運営に協力してくれた方を集め、フィードバックのために振り返り会を実施。

振り返り会では、持続性がある訓練にしていくためには運営者を増やす必要があるという意見があったことを踏まえて、令和7年度防災フェアは、人が集まりやすい時期に変更するをすることに。

提案した意見がきちんと反映される仕組みとすることで、地域住民の活動への意欲向上に繋がる効果も期待できる。